

山行報告書

日時	2019年10月26日(土)~27日(日)		天候	晴
山名	祖母山			
CL	こうちゃん	参加者	ほうまん、T永	
(コース)	<p>1日目 19:00春日原駅7:00=大宰府IC=日田IC=10:30祖母山白水登山口10:50・・・12:05林道終点12:30・・・(メンノツラ谷)・・・16:40九合目小屋</p> <p>2日目 九合目小屋5:55・・・6:05祖母山山頂・・・6:40九合目小屋7:20・・・10:40八丁越10:50・・・13:50祖母山白水登山口=萩温泉=日田IC=筑後小郡IC=大野城駅</p>			
(コメント)	<p>20日の清掃山行で腰痛が悪化したため翌日の大船山をドタキャンしてしまいました。その後治療に専念した結果少し改善したので行きたかった祖母山に行くことにしました。腰サポートを付けての沢沿いの登りで急登もありましたが何とかメンノツラ谷を経て9合目小屋到着。5~6人先着がいましたが無事泊まりました。翌日早朝祖母山に登頂、ガスがあり朝日は見れませんがきれいな雲海をみれました。下山は八丁越えを目指し長く続く尾根だったので非常に疲れてしまった。</p> <p>遠くに祖母山を見ながら行くと両方が切ら落ちた危険な岩の馬の背があり、渡る前に足がすくみおそるおそる無事通過したが非常に怖かった。八丁越に着くと二つの山からなる大障子岩がそびえていて登る予定が体力がなく通過する。それから危険な急坂が連続する尾根をイッキにを下山した。腰痛も悪化せず行きたかった祖母山に登れたのが良かったです。(ほうまん)</p> <p>初めての祖母山。高度感が凄い。シュラフとカバーとエアマットで相当に重くなり、さらに食料と行動食の入ったザックを担ぐとズッシリで、メンノツラコースは重いザックに振られながら登った。苔むした川沿いの道を過ぎると斜度のきつい急登の連続。へとへとでやっとたどり着いた。山小屋は数年前まで有人小屋だったらしくログハウス風の立派な造りで快適だが、女子トイレが壊れて使えず、ほかの宿泊グループの女子達と草むらに穴掘ったところを使用した。毛布の部屋を使用させてもらい、毛布も使い放題だ。シュラフ一式が重かったのに…。下山途中、素敵な木立の中を散歩気分で気持ちよく歩いて気分も上々、つと、目の前にありえない風景。。。絶句。。。切れ落ちた尾根にかかった真ん中が尖って、屋根のような岩の橋が、、、後戻りもできず暫く立ち往生。怖くて、涙が出てきた。結局泣きながら這いつくばって渡り切った。リーダーはそんなに怖がるとは、とあきれ顔。また、汚名が塗り重なった気分。、ヤママップとテープとリーダーが居なければ無事には帰ってこれなかったと思う。こうちゃんさん、ほうまんさん、お世話になりました。(T永)</p> <p>約40年ぶりにメンノツラ谷経由で祖母山へ登って来ました。沢を何度も渡渉しながらの道で、時々道が分からなくなるようなところもありましたが、迷いながらも九合目小屋へ到着することが出来ました。当日は、少々ガスっていたので、登頂は止めて翌朝登頂することになりました。翌朝少々暗がりの中でヘッドランプを点灯し、約10分で山頂に到着しました。雲海に浮かぶ阿蘇、九重、傾山、大崩山・・・等々の素晴らしい展望に出会うことが出来ました。その後小屋に戻って朝食を取り、八丁越経由で登山口へ下山しました。当初は大障子岩へ行く予定でしたが、出発が遅くなったのでパスしました。紅葉は少し遅い感じでしたが、所々に紅葉した木々があり、原生林の美しさを満喫する山旅でした。(こーちゃん)</p>			
費用概算	(交通費/人)	約4500円		
	(その他/人)	共同食 約1000円		



